

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月31日(2022.10.31)

【公開番号】特開2022-159465(P2022-159465A)

【公開日】令和4年10月17日(2022.10.17)

【年通号数】公開公報(特許)2022-190

【出願番号】特願2022-129899(P2022-129899)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

A 6 3 F 5/04 6 0 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月21日(2022.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を進行させるべく操作される操作手段と、

前記操作手段が操作されたことに基づいて第1信号を出力し、前記操作手段が操作されていないことに基づいて前記第1信号を非出力とする信号出力手段と

を備え、前記信号出力手段からの信号入力状況に基づいて遊技を進行させる遊技機において、

前記操作手段として、遊技を開始させるべく遊技者によって操作される開始操作手段と、

絵柄の循環表示を停止させるべく遊技者によって操作される停止操作手段と、を有し、

所定数の遊技価値をベットされた後に前記開始操作手段が操作されたことを示す第1信号

が入力されたことに基づいて、前記絵柄の循環表示を開始させる遊技開始手段を備え、

定期的に、前記信号出力手段からの信号入力状況を確認する状況確認処理を含む定期処理を行う定期処理実行手段と、

特定処理を行う特定処理実行手段と、

前記特定処理が終了した場合、前記状況確認処理の処理結果を用いて前記操作手段が操作されたか否かを判定する判定処理を行う判定処理実行手段と

を有し、

前記特定処理実行手段は、

前記特定処理を開始した後に前記定期処理が行われたか否かを確認する確認処理を行う確認処理実行手段と、

前記確認処理実行手段が前記定期処理が行われたことを確認した場合、前記特定処理を終了させる終了手段と

を有し、

前記所定数の遊技価値をベットされた状況で前記開始操作手段が操作されていないと判定した場合には、遊技価値のベット数を確認する処理を含む所定処理に戻る構成としたことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

40

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に記載の発明では、遊技を進行させるべく操作される操作手段と、前記操作手段が操作されたことに基づいて第1信号を出力し、前記操作手段が操作されていないことに基づいて前記第1信号を非出力とする信号出力手段とを備え、前記信号出力手段からの信号入力状況に基づいて遊技を進行させる遊技機において、前記操作手段として、遊技を開始させるべく遊技者によって操作される開始操作手段と、絵柄の循環表示を停止させるべく遊技者によって操作される停止操作手段と、を有し、所定数の遊技価値をベットされた後に前記開始操作手段が操作されたことを示す第1信号が入力されたことに基づいて、前記絵柄の循環表示を開始させる遊技開始手段を備え、定期的に、前記信号出力手段からの信号入力状況を確認する状況確認処理を含む定期処理を行う定期処理実行手段と、特定処理を行う特定処理実行手段と、前記特定処理が終了した場合、前記状況確認処理の処理結果を用いて前記操作手段が操作されたか否かを判定する判定処理を行う判定処理実行手段とを有し、前記特定処理実行手段は、前記特定処理を開始した後に前記定期処理が行われたか否かを確認する確認処理を行う確認処理実行手段と、前記確認処理実行手段が前記定期処理が行われたことを確認した場合、前記特定処理を終了させる終了手段とを有し、前記所定数の遊技価値をベットされた状況で前記開始操作手段が操作されていないと判定した場合には、遊技価値のベット数を確認する処理を含む所定処理に戻る構成としたことを特徴とする。

10

20

30

40

50